

「ユニセフ集会」を行って

# 世界の子どもたちの力になりたい!

報告者

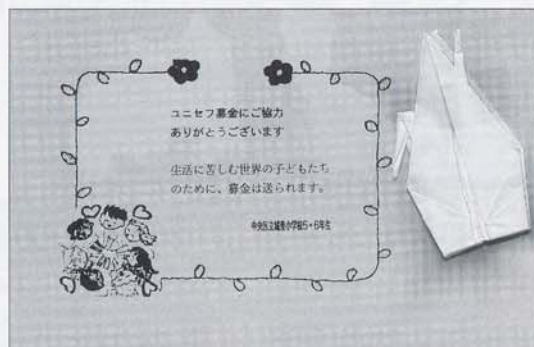
東京都中央区立城東小学校 川島 幹雄先生

## POINT

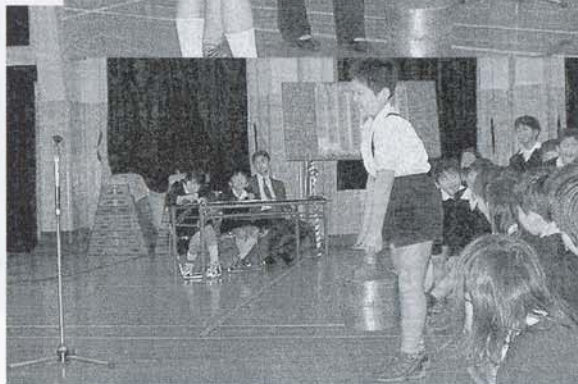
城東小学校では、毎年ユニセフ募金活動に取り組んでいます。事前学習では、5・6年の実行委員会が主催してユニセフ集会を開き、ユニセフの活動の大切さを学びました。日本ユニセフ協会からお招きした職員の方から、私たちと同じぐらいの年齢の子どもたちが大変な苦勞をして生活していることを伺って、自分たちはなんと幸せなんだろうと実感しました。そして、そうした子どもたちのために少しでも支援をしたいと思い、校内と東京駅で募金活動へのご協力を呼びかけました。



△「がんばってくださいね」と励まされ心が熱くなりました。(東京駅にて)



△心を込めて、折り鶴を作りました。



△こんな重い水がめを運ぶことが子どもたちの仕事なの?

## 活動日誌

- 募金活動を通して、私たちはたくさんの人たちの温かい気持ちにふれることができました。
- この活動が、世界の子どもたちのために役立てられることをうれしく思います。
- ユニセフによって、ぼくたちと世界の子どもたちが結ばれたような気がします。

「ハンド・イン・ハンド」に参加して

# 「レッツトライ! 今わたしたちにできること」

報告者

栃木県栃木市立大宮南小学校 腰塚 真弓先生

## POINT

「総合的な学習」として「ハンド・イン・ハンド」に参加させていただきました。3～6年を縦割りにしてグループを作り活動しました。自作の募金箱やポスター、チラシをもって、募金を呼びかけました。子どもたちも大きな声でよびかけていました。さらに本校で行われた「大南祭」では募金のお礼にと子どもたちが手作りの小物を作り募金してくださった方へ配りました。子どもたちに温かい声をかけてくださる方も多く、少しでも世界の子どもたちの役に立ちたいと子どもたちも張り切って活動できました。



△2003年11月10日 ヤオハン城内店での活動



△2003年11月15日 学校内 大南祭にて

## 活動の内容

- 参加団体  
大宮南小学校  
グループ名  
「レッツトライ! 今わたしたちにできること」
- 活動日  
2003年11月10日  
ヤオハン城内店前  
10:30から11:30  
2003年11月15日  
学校内 大南祭にて  
9:00から11:30
- 参加人数  
両日とも 17人





# アフガンに思いをはせて 愛と手紙(英文)を

報告者

神奈川県横浜市立六浦南小学校 清水 浩一先生

## POINT

3～5人位ずつの小グループで3回街頭募金活動をしました。募金活動をするまでに、ユニセフのことやユニセフ募金が送られている国について調べたり、街頭での募金活動の(お願い)許可をいただくために募金を予定している場所に連絡したり、自分たちで募金箱を作ったりするなどの活動を行いました。

募金活動後は、送られるお金とともにアフガンをはじめ恵まれない子どもたちに自分たちの心(思い)も届くようにと、自主的に休み時間などを使って、手紙を書いたり、歌を録音したりしました。

Hello. We are Japanese who are twelve years old.  
 One day, we decided to do donation—fund and as a result, we were able to collect lots of money. There were many people who were kind enough to donate. Please help yourself with it. Recently we are really trying hard to singing. It feels great when you sing a song. When you are feeling sad, please try to sing this song. We have recorded the song for you.  
 There are lots of crimes in Japan. Can't believe people who murders. People have what a certain people have to do. So people have to try hard to live and do what they should do. Our regards is to let the people live peacefully ever after in the whole wide world. And that's how it should be.

Japan Yokohama city Matsunuraminami elementary school  
 The six year students Our name are Natsuki Abe, Mai Nagata and Chie Hayashi.

英文の手紙

こんにちは。私たちは、12才の日本人です。この前、募金活動をして、たくさんのお金を集めました。日本のいろいろな人達のやさしさがいっぱいつまっています。大切に使うください。私達は、最近歌を歌うのに夢中です。歌っていると楽しい気分になるし、とてもすっきりします。悲しくなったりは、ぜひこの歌を歌ってみてください。テープに録音しておきました。いま、日本では犯罪がふえています。人を殺すなんて許せません。人はみんな、命のバトンを受け継いでいるのだから、命を大切にしていってほしいと生きていくべきだと思います。私達は、世界中の人々がみんな安全に、平和に生活できるよう、祈っています。

日本語訳



気持ちをこめて



子どもたちが歌「この星に生まれて」を録音しているときの様子



「この星に生まれて」の楽譜と歌詞



## 〈授業を終えての感想&子どもたちの思い〉

募金活動では、多くの方がたが協力してくれて、人の心の温かさに触れ、募金活動をすることに充実感を感じました。募金をしてくれる人の笑顔がとても素敵でした。また、なかには「がんばってね。」と励ましの声をかけてくれる人もいて、うれしかったです。

テープに歌や自分たちのメッセージを録音するときは、自分たちの思いが届くようにと、心を込めて活動しました。一人ひとりでは大きな事はできないけれど、その一人ひとりのやさしさが集まればとても大きな力になることも分かりました。世界の人びとがいろいろな場面で支え合っていることも感じ、同時に、「助け合うこと・支え合うこと」の素晴らしさを実感しました。そして、この活動を通して、人とふれ合うこと、国境を越えて平和を考えることができました。いろいろなことを学びながら、楽しく活動することができました。